

平成30年5月13日
今週のベストショット



奈多グラウンド ブルーマーリンズ 対 三苦三球会戦

三球会の新人・池上投手からいきなりヒットを放つブルーマーリンズ一番・児玉選手。

写真：新町ウインズ 早田 主大

青松園B 少ないチャンスを活かしたチームホーネッツが勝利！

三苦ホーネッツ (3勝) 0100010 2 川原○-広木

三苦フレンズ (2勝1敗) 0000001 1 山口●-佐藤(由)

HR：稲葉 (三苦ホ) 2BH：井手 (三苦ホ) 生野(拓) (三苦フ) 盗塁：井手 (三苦ホ)

優勝候補同士のホーネッツとフレンズの大きな一戦は、リーグ屈指の両エース、フレンズは山口投手、ホーネッツは川原投手の先発で試合は始まった。一回表、フレンズ山口投手は内野安打を許すが後続を討ち取り、順調な滑り出しを見せる。その裏ホーネッツ川原投手は二連続三振を含む3人で攻撃を抑え、こちらも順調な滑りだしを見せる。二回表、ホーネッツは先頭と次打者が三振に倒れ、三人で攻撃が終わるかと思われた。しかし、七番稲葉選手が山口投手の速球をガツンと弾き返し、打球は瞬く間にライナーでセンターの頭を超え、稲葉選手も快速でダイヤモンドを走り回って先制のHR！ホーネッツが先制した。その後、両投手とも踏ん張って投手戦となり、両チームともチャンスメイク出来ずに回は進んだ。そして、六回表、ホーネッツの攻撃は先頭の井出選手がコツンと綺麗にサード横を抜ける2BHを放ち、チャンスとなる。PBで三塁に進むと四番広木選手の内野ゴロの間にホームに返り、徳望の1点を追加した。そして、最終回となり、七回裏フレンズの攻撃となる。三番生野(拓)選手は、センターヘライナーを弾き返すとホーネッツセンター稲葉選手が猛ダッシュとダイビングで捕球しようとするがボールは地面に落ち、二塁打で出塁。WPで三塁に進むと四番佐藤(由)選手が放った一塁への打

球はファーストの腕に当たって、上空に上がり、更にチャンスメイクかと思われたが、ホーネッツセカンド井出選手がこの球を見事捕球しファーストベースにダッシュ、タッチアウトとした。その間に三塁ランナーはホームに返り、フレンズは1点を返した。しかし、攻撃はここまで後続が続かずゲームセット。終わってみれば両チームでヒットは5本と両投手が踏ん張った試合だったが、少ないチャンスを活かし、ピンチにみんなで声を掛け、守りきったチームホーネッツは素晴らしかった。(記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：大坪 和則)



三苦フレンズ先発の山口投手。



三苦ホーネッツ先発の川原投手。



二回表、思い切りのいいスイングのホーネッツ五番塚(恭)選手。



二回表、先制HR！ホーネッツ稲葉選手。



四回裏、何とか塁に出たいフレンズ四番佐藤(由)選手。



五回表、センターフライを捕球したフレンズ松尾選手。



六回表、三塁線への二塁打！ホーネッツ井手選手。



六回裏、センター前ヒットを放つフレンズ吉村(雄)選手。



七回裏、もう少しだった！ホーネッツ稲葉選手。



七回裏、二塁打でガッツポーズ！フレンズ生野(拓)選手。



七回裏、好プレーを見せたホーネッツ二塁コンビ。



試合後、健闘を讃え合う両監督。

奈多グラウンド 三球会足技を絡めてコールド快勝！

ブルーマーリンズ (3敗) 10000 1 佐藤●ー横山(健)

三苦三球会 (2勝) 5223X 12 池上○、堺(達)、原口ー藤澤

2BH: 佐藤(ブルー) 盗塁: 大津、堺(太)、濱口(三球会)

初回ブルーの攻撃は先頭の児玉選手が三塁手の頭上をワンバンで越える左翼前安打で出塁。二番末松選手の送りバントや相手のPBで一気に本塁を帰ってきて幸先良く先制点を奪った。その裏三球会の攻撃は先頭から三者連続で四球を選び満塁のチャンス。そこに四番の半田選手が左翼へ適時打を放ち二人が生還しあっさり逆転に成功。

その後もチャンスは続き八番の濱口選手の右翼への適時打などで5点を奪った。二回表のブルーの攻撃は三球会の池上投手が2つの三振を奪い勢いに乗る。二回裏一番藤澤選手、二番上村選手が連打で出塁し、四番の半田選手の犠飛に送球エラーも絡み二人共生還し追加点。三回裏は塚(太)選手、濱口選手が盗塁を決めるなどでブルーの守備陣を翻弄して更に二点追加。四回表ブルーの攻撃は二死から五番佐藤選手が中堅越えの二塁打を放ったが後続が続けず無得点。四回裏にも三球会は安打に失策に四球を絡めて三点追加してコールド対象得点差にした。五回表ブルーの攻撃は先頭の代打川口選手が四球を選び出塁するも後続が倒れ試合終了となった。勝った三球会は新人の池上投手がきっちり抑え、同じく新人の四番半田選手が3打点をあげるなど若い力が躍動した。敗れたブルーは初回に先制点を奪った勢いを活かせず、連続四球などで相手に流れを与えてしまった事が痛かった。

(記事：新町ウインズ 野中 一史、写真：早田 主大)



小雨がちらつく中、先攻後攻のじゃんけん。



試合前風景 (三苦三球会)



試合前風景 (ブルーマーリンズ)



試合前挨拶。



好投した三球会先発の池上投手。



先発したブルーマーリンズ佐藤投手。



一回表、サードの頭上を越える安打を放つ児玉選手。



一回裏、濱口選手のヒットで二者生還。



二塁にトスする児玉選手。



高めの釣り球に空振りする横山（健）選手。



セカンドに滑り込む三球会松尾選手。



右打者の切れていく打球を処理した小柳選手……。

第4週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第4週、5月13日は2試合が行われました。

青松園Bの三苦ホーネッツ対三苦フレンズ戦は、二回表に七番稲葉選手のHRで先制したホーネッツは、9三振を喫しながらも六回表に二番井手選手の二塁打を足がかりに2点目を奪うと、七回裏のフレンズの粘りを1点に抑え、2-1で勝利。両チーム合計17三振の投手戦を制した。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対三苦三球会戦は、三球会新人の池上投手から幸先よく1点を先制したブルーマーリンズだったが、8三振を奪われ1点に抑えられる。一方三球会は、先生は許したものの、三連続四球を足がかりに初回二5点を奪い逆転すると、8安打で毎回の12得点。投げては三球会が3人の投手リレーを見せ、1-12で三球会の勝利。

雨が心配されたが、何とかリーグ戦は消化できた。しかし、その後に予定されていた壮年ソフトの大会は全て中止。20日へ順延となり、リーグ戦は全て試合延期となった。